ゴールドアクター、トーセンスターダムの1点

　ワンアンドオンリーは、その名前から言って「2冠」を取れるのか？という疑問があります。「1冠」で終わるのではないのか？と……。

とまあ、そんなわけでもないのですが、今回はもっともよくあるパターン、夏の上がり馬ゴールドアクターを買います。この「黄金俳優」は父のスクリーンヒーロー（銀幕英雄）から名前をつけられたのでしょうが、夏の札幌という「地方舞台」で2連勝しました。

　つまり、菊花賞は、地方役者から中央の黄金俳優になるチャンスなのです。菊の舞台で黄金演技を演じでてもらいましょう。ということは、ここで一気にスターダムに駆け上ってもらうわけですから、当然、相手はトーセンスターダムとなります。結論：この2頭の馬単、馬連をまず買います。

　続いて、やはり中央舞台の大将役者はワンアンドオンリーですから、敬意を評して、ゴールドアクター、トーセンスターダムの2頭からワンアンドオンリーの馬単、馬連を買います。以上の計6点で勝負です。これで、今回の菊花賞の馬券はおしましです。役者にはサングラスが付きものという説がありますが、そこまでやりません。

＊なお、詳しくは「メルマガ」で。

■奇才3人衆［松井政就、山田順、田畑良彦］による「驚天動地」馬券。

http://foomii.com/00077

・「今週の重賞予想と買い目」：毎週土曜日朝10時までに配信

・「今週の結果報告&回顧」：毎週月曜日朝10時までに配信